

様式第4号（第6条関係）

令和元年7月12日

米子水鳥公園の管理業務に関する事業報告書

米子市長 伊 木 隆 司 様

鳥取県米子市彦名新田665
公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団
理事長 伊 澤 勇 人

管理業務の実施状況	<p>(1) 施設等の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none">○ 樹木等の管理育成その他米子水鳥公園の保全○ 施設等の保守点検、補修及び清掃○ 施設等の警備○ 施設等に係る経費の支払 <p>(2) 施設等の利用に関すること</p> <ul style="list-style-type: none">○ 各種届出書の受付○ 入館料等の徴収 <p>(3) センターの利用の促進に関すること</p> <ul style="list-style-type: none">○ 広報活動の実施等
施設の利用状況	<p>平成30年度の入館者数20,088人、前年度比679人増となった。</p> <p>平成30年度は、特記事項として米子水鳥公園で全国公募のデコイ公募展を実施した。その結果、全国から88点（うちコンペティション部門33点）を集めた。これに合わせて、クラウドファンディングなどを用いて資金の寄付を募った。世界湿地の日の企画として、来館者による水鳥の総選挙をおこない、多くの投票を得ることができた。他にも、多くの事業を行うとともに、これをPRして市民の自然環境に関する意識の向上を図った。</p> <p>また、日頃より米子水鳥公園及び周辺の自然環境の調査研究を行うとともに、その野鳥の専門知識を生かしてカワウや鳥インフルエンザなど地域の課題にも対応した。さらに、今年度から米子水鳥公園の生態系の保全を目指して、外来種対策のために外来のカメ類の捕獲装置を設置してその駆除に努めた。また、日頃の研究の成果を資料の収集と展示に用いるだけでなく、ウェブ・報道各社を通じて情報発信に努めた。</p> <p>さらに、自然環境に関する学習活動として、毎月定例の自然観察会・手作り自然教室・水鳥の絵画コンクール・園児の描いた鳥の絵展などのイベントを実施した。また、ボランティア、外部団体の研修、視察などを受け入れるだけでなく、講師として野鳥の専門家を派遣したり研修会を実施したりし、施設の多面的な利用と地域の要望に貢献した。</p>
使用料（利用料金）の収入実績	<p>平成30年度の入館料（一般入館券・割引入館券）及び年間パスポート券代金の収入実績 1,628,960円、前年度比17,510円増となった。</p>

管理業務の実施に係る収支状況			
収 入		支 出	
項 目	金額 (円)	項 目	金額 (円)
米子市からの管理受託料	41,809,000	人件費	28,165,113
入館料	1,628,960	消耗品費	1,599,493
イベント収入	154,750	光熱水料費	2,070,309
積立金取崩し	375,407	共済費	4,070,485
		委託費	4,821,036
		租税公課	1,623,500
		修繕費	399,939
		その他	1,218,242
合 計	43,968,117	合 計	43,968,117